

向陽 SSH NEWS 第16号



編集：向陽高校SSH事務局

2年普通科理系 SSH先端科学講座
「化学のこれまで、これから」

2月7(木)の5限、普通科2年理系を対象としたSSH先端科学講座が行われました。大阪府立大学高大連携機関教授 岡勝仁先生をお招きし、「化学のこれまで、これから」という演題で、講義していただきました。今回の講座は、大学の研究者から化学を中心とした科学技術の発展の基礎について学ぶことにより、科学に対する興味・関心を高め、今までの理科の授業で学習した知識を深化させるとともに、自ら学ぶ力をつけることを目的としています。

講義は、学問と芸術の違いをもとに、学問は努力をすることで必ず身につけることができるものであるという熱い言葉からはじまりました。化学を勉強するには努力がいること、不思議だと思えることが大切であること、実験・観察の重要性などについてお話いただきました。また、理系であっても文系の学問を勉強することで知識が広がること、本を読み、文章を書くことで自分の頭で筋道立ててどうすればよいか考えることができるなど、すぐ身近にあって生活に欠かせない数々の物質を作り出してきた「化学」という学問について、これまでの歴史の流れを中心に、中国の元素周期表など多くのことを教えていただきました。また、勉強することの意味、大阪府立大学の研究室から見える四季折々の風景など、化学関係だけにとどまらずいろいろなことをお話いただき、生徒は刺激を受けたようです。

参加生徒の感想より

「化学の歴史から順に学んでいくと、難しいけれどおもしろかった。」「今回の講座で化学だけでなく勉強のやる気を引き出すコツを教わったと感じました。」「化学がいろんな世界とつながっていると実感した。もっと視野の広い人間になり、努力を惜しまずがんばりたい。」「長時間であったけれど、いろいろと興味深いお話をしていただいたので最後まで集中して聞くことができた。」

2年環境科学科「SS探究科学Ⅱ」課題研究
中学3年生へポスターセッション

2月19日(火)の5限、環境科学科2年「SS探究科学Ⅱ」選択生が、向陽中学3年生を対象にポスターセッションを行いました。内容は、「SS探究科学Ⅱ」の授業で、1年間行ってきた課題研究の成果についてです。

参加した中学生たちは、各々興味のあるポスター発表の前で熱心に説明を聞き、研究内容について積極的に質問していました。これから向陽高校に入学し本格的にSSHプログラムを学習していく中学3年生にとって、先輩の研究成果を学習することができ、非常に有意義な時間となりました。



平成24年度 電気学会高校生懸賞論文コンテスト 受賞

3月9日(土) 東京電力にて平成24年度電気学会高校生懸賞論文コンテストの表彰式が行われました。

本校からは、環境科学科1年生の米良日菜さんの「安全性を求めて～人々が望む発電方法とは～」が佳作賞を受賞し表彰されました。原発事故が発生して以降問題となっていることについての街頭のアンケート調査を解析し、これからの発電方法の方向性を提案した論文で高く評価されました。また、本校から応募した論文に優秀な作品が多数あったと評価していただき、向陽高校としても指導者賞を受賞しました。



平成24年度 第3回SSH運営指導委員会開催される

3月15日(金)、平成24年度第3回運営指導委員会が開かれました。運営指導委員の先生方、和歌山県教育委員会と本校職員が出席し、会議が進められました。

最初に本校事務局より、今年度のSSH事業について昨年度の課題をふまえた今年度の取組の概要報告を行いました。また、成果と課題、高校1年生に行ったアンケートの分析による評価も説明しました。

運営指導委員の先生方からは、研究機関との連携や課題研究、国際性を高める取組等について、各々の立場からの貴重なご意見や、次年度に向けた取組についてご助言いただきました。

